

**注意点1**

**理論**

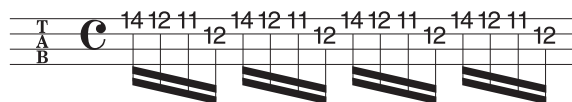
**スムーズな弦移動を実現するレイキングを覚えよう**

レイキングとは、1弦から4弦方向へ弦移動する際に、オルタネイトを使わずに同じ指で複数弦を連続してピッキングするテクニックのことだ(図1)。1回のピッキング動作で2音以上を鳴らすことができるため、プレイの高速化にとっても役立つ(超絶テクニックに限らず、通常の2フィンガー奏法でもごく自然に使うオーソドックスなテクニックでもある)。本項と以降2項目で紹介する3フィンガー・レイキングには、①人差指レイキング②中指レイキング③薬指レイキングの3つのパターンがある。この3つのパターンは、フレーズに合わせて使い分けていくものだが、実際には適宜組み合わせて使うことが多いのだ。

図1 レイキングの指順

・メイン・フレーズ1小節目

レイキングあり 薬 中 人 人 薬 中 人 人 薬 中 人 人 薬 中 人 人  
 レイキングなし 薬 中 人 薬 中 人 薬 中 人 薬 中 人 薬 中 人 薬



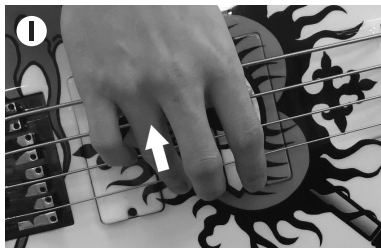
レイキングを使わないと、右手の弦移動がかなり細かくなってしまふ。

**注意点2**

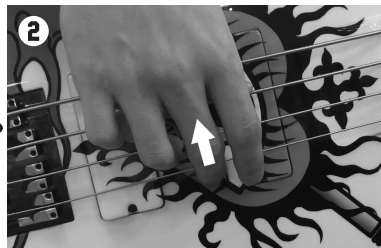
**右手**

**音量を一定に保ちながら人差指レイキングを弾こう**

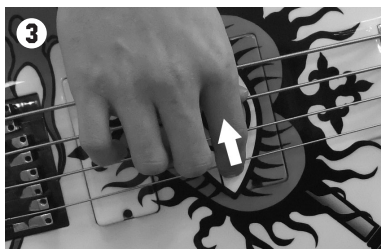
メイン・フレーズは、16分音符によるシーケンス・フレーズ【註】となるため、あまり抑揚をつけず機械的に弾くことがポイントだ。1拍内の4音を1弦(薬指)→1弦(中指)→1弦(人差指)→2弦(人差指)の順で弾くが、1弦から2弦への弦移動が人差指レイキングとなる(写真①~④)。3フィンガー・レイキングでは、音量のバラつきやリズムの乱れに気をつけるとよい。また、途中で息切れしないように、同じピッキング動作をキープできる体力をつけておくことも大切だ。レイキングを行なう人差指はもちろん、右手の3本指をバランス良く鍛えるように心掛けよう。



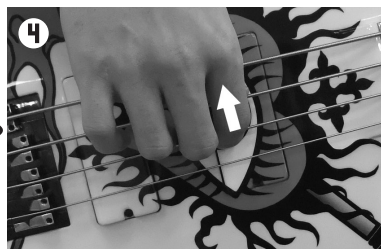
① 3フィンガー・レイキング。まず薬指から始まり……



② 続いて、中指でピッキングする。



③ 人差指は、1弦を弾いた流れのまま……



④ 2弦もレイキングで鳴らそう。

~コラム14~

**将軍の戯れ言**

音楽をビジネスとして考えると、どれだけ多くの人からの支持を集められるかが重要になる。音楽ビジネスは、おもに音源の売り上げとライブの動員の2点によって成り立つが、この世界に身を投じて活動していると、プレイヤーとしてジレンマを感じる事が少なくない。例えば、ハイエンドのベースでレコーディングを試みたいが、それを使ったことでCDの売り上げが良くなるのか? また、グルーヴィなプレイを披露したいが、それを見せたことで、ライブの動員が一気に伸びるのか? など、プレイヤーとしての満足とビジネス面での結果は、必ずしも一致しない。むしろ、スティック

**ウマいだけではダメ! 音楽ビジネスで生き残るための考え方**

なプレイをするよりも、MCで面白い話をして笑いを取ったおかげでライブの動員が増えた、なんていうことが起こるのだ。読者諸君には、プレイヤーとして視点とお客さんとしての視点の2つを持った上で、ベース・プレイヤーとしての自分のスタイルを確立できるように努力してもらいたい。そういう意味では、立って弾く時の姿勢は重要だ。筆者の場合は、多くのテクニカル系ベーシストがベースを高い位置で構えていたため、その逆を狙って低い位置で構えるようにした。プレイヤーとしての希望とビジネスという現実のバランスをうまく取れるように心掛けよう。



⑤ 常にお客さんの視点を持って、彼らが喜ぶパフォーマンスをすることが大切だ!

【シーケンス・フレーズ】 比較的短い音型またはコードの繋がりやくり返すフレーズ。くり返される音型やコードは同一のものである必要はない。シークウェンス・フレーズとも言う。